

神経研究の進歩 第33巻 総目次

1989年(第1号～第6号)

数字は通巻頁数, () は号数

〔特集 脳とホルモン〕

序 論	新井 康允	5(1)
神経ホルモンの進化		
上村 晴子・藤井 謙・小林 英司		6(1)
脳ホルモン産生ニューロンの形態		
学的特徴	福居 颯二・井端 泰彦	16(1)
神経内分泌細胞の電気生理学的特徴	佐久間康夫	31(1)
エストロゲンの中枢ニューロン作用		
一即時反応のメカニズムについて	大村 裕・福田 敦夫	38(1)
脳ホルモンの新しい展開	矢内原 昇	45(1)
ゴナドトロピン分泌の中枢性調節		
一性腺ステロイドホルモンによるフィードバック調節と神経ペプチド, 生体アミンの役割	貴邑富久子・有田 順	55(1)
GRH および CRH による内分泌調節とその病態	寺本 明	66(1)
アミンニューロンと脳ホルモン産生ニューロンの相互作用	中井 康光	78(1)
脳ホルモン受容体	小川 紀雄	91(1)
脳ペプチドの交感神経-副腎髄質系機能調節		
一とくに胃酸分泌, 血液カテコールアミン値との関連	大隅 義継・大熊 康修	100(1)
脳のロイコトリエンとその生理的作用	宮本 積	109(1)
成長ホルモン, 甲状腺ホルモンと脳の発達	野口 鉄也	115(1)
ホルモンと神経栄養因子	有松 靖温	130(1)
性ステロイドに対するニューロンの可塑性		
一脳の成分化と生後の神経回路形成の調節	新井 康允	140(1)
ニューロンの遺伝子発現とステロイドホルモン	河田 光博・佐野 豊	150(1)

〔特集 Pandysautonomia〕

一その基礎と臨床一

序論 — Pandysautonomia のも		
つ意義	平山 恵造	183(2)
自律神経系の中樞性調節機構		
大村 裕・片渕 俊彦		186(2)
自律神経系の地域性反応	入来 正躬	196(2)
中枢自律神経系の神経伝達物質	前田 敏博	207(2)
末梢自律神経系の神経伝達物質		
村松 郁延・藤原 元始		216(2)
自律神経系の受容器と細胞内情報伝達	久野 高義・春藤 久人	
竹田 武彦・田中千賀子		226(2)
自律神経細胞の成長, 機能維持, 修復と神経成長因子		
古川 昭栄・古川 美子		237(2)
神経-免疫-内分泌軸		
平山 恵造・北 耕平		249(2)
系統変性症における自律神経障害の神経病理	水谷 俊雄	254(2)
Acute Pandysautonomia	岡嶋 透	269(2)
Progressive Autonomic Failure		
北 耕平・平山 恵造		282(2)
Riley-Day 症候群	岡田 正直	296(2)
Fabry 病 — 典型例と部分酵素欠損例からの自律神経機能異常の考察	吉良 潤一・田平 武	303(2)
アミロイドポリニューロパチー	鈴木 友和	312(2)
糖尿病, 急性ポルフィリン症, 癌性ニューロパチーに伴う自律神経障害	高橋 昭	319(2)
湿式蛍光法と MAO 電顕酵素組織化学 — Acute Idiopathic Pandysautonomia (AIPD) を中心として		
松林 公蔵・島田 和幸・小沢 利男		
岡伸 伸幸・秋口 一郎・前田 敏博		330(2)

自律神経疾患における内視鏡的直

腸生検法の有用性……………

矢沢 正信・牛山 雅夫・池田 修一… 338(2)

筋交感神経活動……間野 忠明・岩瀬 敏… 346(2)

〔特集 発育期の脳障害〕

我が国における研究の展望……鴨下 重彦… 367(3)

本態不明の奇形症候群……黒木 良和… 373(3)

Rett 症候群 ……野村 芳子・瀬川 昌也… 384(3)

染色体異常症候群……広田 哲也・新川 詔夫… 398(3)

色素性乾皮症と神経症状……武部 啓… 409(3)

神経皮膚症候群—遺伝子座位と発

症機構について——大野 耕策… 419(3)

先天代謝異常による脳発達障害…鈴木 義之… 428(3)

胎内感染と脳障害……渡辺 一功… 436(3)

周産期異常と脳発達障害—脳室内

出血を中心に——

高嶋 幸男・水戸 敬・宝道 定孝… 445(3)

新生児・乳児のウイルス感染と発

育遅滞……鳥居 昭三… 454(3)

てんかんにおける発達障害……岡 鎮次… 463(3)

胎内物理・化学的環境要因と脳の

発生異常……塩田 浩平… 473(3)

シナプス形成とその異常……

山野 恒一・島田 司巳… 484(3)

形態形成因子としてのレチノイン

酸と神経形成……桃井真里子・桃井 隆… 495(3)

〔特集 神経疾患と分子遺伝学〕

「神経分子遺伝学」序説……塚田 裕三… 531(4)

分子遺伝学的方法論—その考え方

と医学への応用——村松 正實… 535(4)

トランスジェニックマウスによる

ミエリン形成の解析……

勝木 元也・木村 稷・佐藤 正宏… 543(4)

遺伝子診断……濱辺 淳一・新川 詔夫… 549(4)

小脳失調モデル動物……御子柴克彦… 561(4)

Alzheimer 病の分子生物学的研究

……北口 暢哉・高橋 保之… 571(4)

ハンチントン病の分子遺伝学……金澤 一郎… 583(4)

Gaucher 病の分子遺伝学 ……辻 省次… 588(4)

Lesch-Nyhan 症候群の分子遺伝学

……小笠原信明・後藤 治子… 596(4)

Fabry 病の分子遺伝学……

西澤 正豊・桜庭 均… 604(4)

家族性アミロイドポリニューロパ

チー……古谷 博和・榊 佳之… 613(4)

筋緊張性ジストロフィー症の分子

遺伝学……

三木 哲郎・武本 優次・荻原 俊男… 626(4)

DMD/BMD と mdx マウス ……

荒畑 喜一・石浦 章一・塚原 俊文

杉田 秀夫… 637(4)

ミトコンドリア脳筋症の分子遺伝

学……中瀬 浩史… 652(4)

〔特集 神経疾患の疫学像とその変貌〕

神経疾患による国民の負荷とその

将来動向……近藤喜代太郎… 695(5)

秋田県の脳卒中の発生動向とその

変化……鈴木 一夫… 704(5)

脳卒中の危険要因とその変化……

田中 平三・中山 健夫・土田 満

山本 卓・伊達ちぐさ・林 正幸… 715(5)

てんかんと熱性痙攣の疫学……

岡 鎮次・大田原俊輔… 728(5)

筋萎縮性側索硬化症—一般的傾向

と西南太平洋多発地における疫

学像……八瀬 善郎… 741(5)

脊髄小脳変性症の疫学……

原田 英昭・高橋 和郎… 752(5)

パーキンソン病における環境と遺

伝の交絡……近藤喜代太郎… 759(5)

老年期痴呆の疫学……柄澤 昭秀… 766(5)

多発性硬化症の疫学……柴崎 浩… 778(5)

ミオパチーの疫学……

荒木 淑郎・佐藤 宏・熊本 俊秀… 790(5)

先天性代謝異常症と新生児マス

クリーニング……青木 菊麿… 799(5)

重症心身障害の疫学……

三吉野産治・畠中 裕幸… 809(5)

染色体異常の疫学……家島 厚・竹下 研三… 815(5)

後縦靱帯骨化症の疫学……

寺山 和雄・大塚 訓喜… 823(5)

HLA と神経疾患……小河原 悟・内藤 説也… 831(5)

南九州における神経疫学の実態

—筋萎縮性疾患を中心として—

中原 啓一・末原 雅人・中島 洋明

中川 正法・福永 秀敏・樋口 逸郎

納 光弘… 840(5)

〔特集 脳のシンポジウム(第24回)〕

1. 開会の辞……………高守 正治… 865(6)
2. 挨拶……………佐野 圭司… 866(6)
3. てんかんの病態に関する生物学的研究
ベニシリンモデルによるてんかん
発作発現機序の研究—主として
発作の起こりやすさについて—
……………山内 俊雄… 867(6)
- 急性キンドリングモデルによるて
んかん発作発現機序の解明……………地引 逸亀… 875(6)
- キンドリングモデルにおけるけい
れん準備性と発作発現の神経機
構……………佐藤 光源・森本 清… 884(6)
- 大脳皮質培養神経細胞を用いての
けいれん発現機序の解明……………菅谷 英一… 892(6)
- 抗てんかん薬とラット脳 Benzodiazepine
受容体および GABA 受容体…
三牧 孝至・鈴木 保宏・田川 哲三… 899(6)
- 自然発症てんかんラットの抗てん
かん薬に対する反応性……………
笹 征史・氏原 久充・石原 熊寿
大野 行弘・藤田 泰彦・吉村 昌和
中村 譲治・芹川 忠夫・山田 淳三
高折 修二…………… 909(6)
4. レセプターとその周辺
GTP 結合蛋白質と情報伝達……………
星野 真一・宇井 理生… 919(6)
- イノシトールリン脂質代謝産物に
よるイオンチャネルの制御…
東田 陽博・David A. Brown… 926(6)
- ニコチン性アセチルコリンレセプ
ター—構造と機能を中心に—
野元 裕・林 恭三… 932(6)
- 低分子量G蛋白質とシナプス機能
金 成有・溝口 明・菊池 章
高井 義美…………… 940(6)
- インターロイキン6とレセプター
(抄録)……………平野 俊夫… 948(6)
5. 脳内への神経細胞移植に関する研究
カテコラミン産生細胞の移植と機
能の再構築……………
西野 仁雄・端谷 毅・熊崎 路子… 950(6)
- 縫線核組織移植による中枢性アミ
ニューロン系の再構築……………
上田 秀一・佐野 豊… 962(6)

- パーキンソン病, アルツハイマー
病モデル動物に対する神経組織
の移植……………
板倉 徹・横手 英義・中井 三量
湯川 修也・駒井 則彦・梅本 守… 969(6)
- チョウセンシマリス脳へのラット
視交叉上核の移植—異種脳組織
移植による機能回復実験……………
松井 豊・川村 浩… 978(6)
- 脳組織移植における免疫応答……………
高坂 新一・竹居光太郎… 986(6)
6. 筋・神経疾患に関する最近の進歩
筋ジストロフィーに関する最近の
知見—ジストロフィンを中心と
して—(抄録)……………杉田 秀夫… 996(6)
- アセチルコリン受容体合成ペプチ
ドの病的抗原性解析……………
奥村 誠一・高守 正治… 999(6)
- 重症筋無力症に関する最近の知見
—骨格筋アセチルコリン受容体
mRNA の定量—……………
上野 聡・原 保夫・宮井 一郎
依藤 史郎・垂井清一郎……………1007(6)
- 筋肉より抽出した神経突起伸展因
子……………三木 直正・谷浦 秀夫・林 要喜知…1018(6)
- 脳における免疫の特殊性—腫瘍免
疫の観点から—……………
山崎 俊樹・山下 純宏・菊池 晴彦…1024(6)
- 挨拶……………橋本博太郎…1036(6)
- 閉会の辞……………正印 達…1037(6)

〔原 著〕

- 脈絡叢の発生について—Bromodeoxyuridine
の免疫組織化学を応用した細胞
発生学的考察……………山田 光則… 159(1)
- 脳死判定における各種電気生理学
的検査法の検討 —“神経モニタ
リング”Ⅱ. 短潜時体性感覚誘
発電位……………塩貝 敏之… 507(3)
- 実験的持続 Endotoxin 血症によ
る脳病変……………間宮 康喜… 667(4)
- Purkinje 細胞—小脳遠心路系障害
および筋原性筋萎縮を呈した悪
性症候群の2剖検例……………
岩淵 潔・天野 直二・横井 晋
柳下 三郎・斎藤 惇・長友 秀樹

(4)

松下 正明…………… 674(4)
Pick 病の免疫組織化学的・超微形
態的研究……………村山 繁雄…1038(6)

〔書 評〕

「記憶と脳」……………酒田 英夫… 685(4)
新生理科学大系 第8巻「神経生
理学総論」……………加藤 正道… 686(4)

新生理科学大系 第12巻「高次脳
機能の生理学」……………柴崎 浩… 853(5)
「神経科学レビュー 3」……………高坂 新一… 854(5)
「進行性ミオクローススてんかん」
……………清野 昌一… 855(5)
「Dr. ロビンスの 上手な英語医
学論文の書き方」……………植村 研一…1054(6)
「誤りやすい異常脳波」……………山鳥 重…1054(6)